

2012年度 NPO 法人キーパーソン21事業報告

【キーパーソン21の活動目的】

ひとりでも多くの子どもたちに将来について考えるきっかけを持たせ、視野を広げ社会へ旅立つことの自覚と自立心を促し、夢と勇気をもって、生き生きと自己実現へ向かってすすめる喜びを知ってもらうこと。

【2012年度の目標】

1. 認定 NPO 申請に向けて 3000 円の寄付を 100 人以上集める。
→5月31日認定されました。
2. 協賛団体企業 15 社、連携実施企業 8 社（8 プロジェクト）へ拡大する。
→協賛団体企業 15 社で達成、連携実施企業 9 社で達成。
3. 会員数を 300 人へ拡大する。
→会員数 167 名から、194 名で拡大したが、達成せず。
4. 学生会員向けプログラムを整備する。
→Be keyperson プログラムとして概要は確立。引き続き、作成。

①小中高校世代に対するキャリア教育プログラムの実施事業

総収入金額 7,478,485円（企業協賛金、文科省委託金を含む）

総支出金額 8,644,177円（いわて県北復興教育支援事業含む）

① -1 プログラム実施

- ・ 学校や教育施設などからの要望に応え、30 プロジェクトを学生会員、会員、連携実施企業の協賛協力を得て小中高校生約 2000 名を対象に実施した。そのうち、学校においては、21 校 23 プロジェクトを行った。学校外の教育施設などにおいては、「親子で夢発見プログラム」を 4 プロジェクト実施した。

また、「企業の子ども応援プロジェクト in 港区」として港区の公立中学校 10 校中 7 校において企業の協賛を得てキャリア教育プログラムを行った。また、文部科学省復興教育支援事業を受託し、岩手県の高校 4 校 325 名の生徒を対象に、「高校生の仕事学びプロジェクト『ジョブスタ』じぶん×北いわて、再発見。」を実施した。

（川崎市立浅田小学校、川崎市立小田小学校、川崎市立平中学校、川崎市立御幸中学校、川崎市立川崎高校定時制、港区立青山中学校、港区立赤坂中学校、港区立朝日中学校、港区立港南中学校、港区立高陵中学校、港区立港陽中学校、港区立六本木中学校、渋谷区立広尾中学校、横浜デザイン学院、川崎市男女共同参画センターすくらむ 21 協働事業、東京都内の児童養護施設 5 校、BumB 東京スポーツ文化館、岩手県立大野高等学校、岩手県立伊保内高等学校、岩手県立福岡高等学校浄法寺校、岩手県立久慈東高等学校）

① -2 プログラム研修

教育現場に入る前の研修として、一般を対象に 7 回 14 日にわたりファシリテーター養成講座を開催。企業 8 社を対象に 8 回開催した。

① -3 協賛企業開拓

- ・ プログラム実施に協力いただける協賛企業として、6 社に継続いただいた。
（株式会社アルバイトタイムス、富士通株式会社、アイエスエフネットグループ、北之台雅楽会、株式会社オーパシステムエンジニアリング、東京 JAPAN 税理士法人）
- ・ 連携実施企業として 9 社から協賛企業として協力支援を受けた。
（株式会社イントリーグ、株式会社エーピーコミュニケーションズ、株式会社 WOWOW、



日本コカ・コーラ株式会社、日本チャールスリバー株式会社、富士通株式会社、ゴールドマンサックス、特定非営利活動法人全国異業種グループネットワークフォーラム、ノバルティスファーマ株式会社)

- ・ 営業ツールの整備をし、「企業の子ども応援プロジェクト」として港区を中心に営業活動を行い、新たに6社の協賛を得た。
- ・ 実施プログラムの記事を作成し、広報ツールを充実させることでさらなる誘致活動につなげた。

① -4 プログラム開発

- ・ これまで12年間にわたり開発してきたキャリア教育プログラムを基本として、小学生からシニア世代まで生涯にわたって自らを知り、活かし、一人一人が生き生きと仕事をして生きる人になるための人材育成サポートプログラムとして体系整備を進めた。

小学生対象

- ・ 「親子で夢発見プログラム」
- 「すきなもののビンゴ&お仕事マップ」の最後にアクションにつながるシートを1枚加えた。

高校生対象

- ・ 「個別アクションプログラム」
開発4年目にしてファシリテーター養成講座を有料にて開催した。会員と学生が受講し、参加者全員がわくわくエンジンの概念理解とともに自分のわくわくエンジンの発見ができ、生徒への実施に備えた。
- ・ 「ジョブスタ」
高校生の仕事学びプロジェクト ジョブスタ じぶん×北いわて、再発見。と銘打ち、地域の魅力を伝え、高校生に地元の魅力を伝え、地元企業や地元地域の課題に対してアイデアを発信するという内容のプログラムを開発した。キャリア教育に詳しい大学教授、企業人事のコンサルタント、高校教員を開発委員としてアドバイスをいただき、また岩手の地元の声を反映させた。結果、21の地元企業の協力を得て、高校4校325名の生徒を対象に学校に企業を招いて行うタイプと生徒が企業に出向いて行う場合の2タイプでモデル実施した。参加した高校、企業、ファシリテーターたちからは評価いただいたが、高校生のアイデアをどう引き出すのかのノウハウの積み上げがあと少し必要。

大学生対象

- ・ 「Be keyperson」
大学生の就職にあたり、アンマッチングを防ぐことを目的とし、会員の人的資産を活かした形で大学生対象のプログラム開発を進めた。大学生向けプログラムを「Be keyperson」と名付け大学生向けのプログラムの全体像をまとめた。その中には、これまで行ってきた「プログラム実施運営プログラム」、「世代トークプログラム」「Spin-outプログラム」「就活サポートプログラム」「インターンシッププログラム」「メンターサポートプログラム」を位置づけた。
- ・ 「世代トークプログラム(仮称)」として会員と学生会員との交流トーク会を2回にわたってトライアルで行った。
- ・ 「Spin-out」プログラムとして大学生会員5名を対象にビジネスの考え方のトレーニングを行った。
- ・ 開発3年目の「就活サポートプログラム」を希望する学生会員3名を対象に行った。
- ・ 小中高校生世代に向けた「キャリア教育プログラム実施運営プログラム」を整備した。
- ・ ビジネスのおもしろさを伝えるプログラムの開発を行う。(新規) → 「おもしろい仕事人がやってくる」の映像をWEBにて紹介することを試みたが未成功。

シニア世代対象

- ・ シニア向けプログラムをコミュニティビジネスの発掘に至るプログラムとして整備した。



②プログラム普及啓発

総収入金額 1,278,320円 (パートナー連携事業等)

総支出金額 999,554円

②-1 プログラム普及

- ・夢発見プログラムファシリテーター資格認定制度 認定委員会を開催 (9月, 3月) し、1級ファシリテーター5名、講師2名が認定された。
- ・パートナーによるプログラム実施
- ・株式会社全教研により、「すきなものビンゴ&お仕事マップ」を4回開催し、塾内生徒107名に行った。
- ・いわてキャリアコンサルタント研究会により「すきなものビンゴ&お仕事マップ」を小学校2校2クラスに行った。
- ・個人のパートナーにより、横浜の新吉田第二小放課後キッズクラブ11名に行った。

②-2 広報活動

- ・Webサイト、メールマガジン、学生ブログ および 代表ブログ、Twitter、Facebook、チラシといった媒体を使用して、ファンドレイジング強化、会員数増大と会員の帰属意識向上という活動目標に基づいて広報活動を行った。多くの新しい支援獲得や既存会員の継続性を高める目的で活動報告ブログを新設し、各活動履歴からリンクさせる等、活動報告を強化した。
- ・Webサイト運用 Webサイト管理、更新 ※10,000PV/月から年間平均14,000PV/月 サイトへ成長。
- ・メールマガジン配信、通常号: 月1計12回、特別便: 随時計22回)、特別便は、チャリティカレッジ、キーパーソン21の日!、ファシリテーター養成講座等の告知など配信。
- ・Twitter: 665 フォロワー, Facebook: 852 いいね! (2013年4月24日現在) で運用中。
- ・プログラムレターを実施プロジェクトごとに作成、配布。
- ・認定NPO申請に向けて寄付ページの新規構築した結果、寄付者100人達成。(2013年3月14日)

- ・メディア掲載は9社、講演は2回

2012/4/1	社会教育 2012年4月号 財団法人全日本社会教育連合会	子どもが“わくわくエンジン”を発見して、生き生きと生きる社会の実現に向けて
4/27	中小企業白書 2012年度版 経済産業省 中小企業庁	子どもに夢と職業意識を与えるため、地域の大人達との出会いを提供する女性起業家
9/17	復興と教育の現場 (Webサイト) 一般社団法人創造的復興教育協会	地元高校生と地元企業の未来のために in 北いわて
11/8	mit スーパーニュース 岩手めんこいテレビ	地元優良企業の株式会社三和ドレスに高校生が訪問し、企業のミッションを解決する様子が放送される。
11/29	読売新聞 全国版 読売新聞社	教育ルネサンス「働くって、何？」
12/4	デーリー東北紙 デーリー東北新聞社	仕事をするということは大人の意識を高める 業界の現状、業務内容は地元企業担当者から学ぶ
12/7	THE BREEZE FM ヨコハマ	もっとつながろう! NPO
2013/1/15	地域教育推進ネットワーク東京都協議会 (Webサイト)	中学生が社会人に自己表現~“職場体験”事前学習として キャリア教育プログラム~
3/12	チャレンジ通信 5年生 株式会社ベネッセコーポレーション	教えてセンパイ! 5年生のお悩みサロンに「将来の夢」 (代表 朝山のコメント掲載)

2012/10/6	平成24年度新潟市ユースアドバイザー養成講座	未来へ希望をもつために
7/7	品川区立小学校PTA連合会 幹部研修会	地域の大人が関わるキャリア教育プログラムの実践



③社会参加支援事業

総収入額 1,327,492円 (川崎商工会議所委託、キーパーソン21の日！)
総支出額 1,248,442円

③-1 大学生への社会参加支援事業

- ・プログラム実施プロジェクトの運営を、学校実施プロジェクト23プロジェクト、学校外実施プロジェクト4プロジェクトを運営した。
- ・各部門のプロジェクトへ参画した。
- ・2012年度学生会員数30名(3月末6名学生会員卒業)。学生会員の募集説明会を1回開催しミニ説明会を2回開催し、4名が新規入会した。
- ・学生の活動を〔事務局学生スタッフ〕〔コアメンバー〕〔一般〕の3区分とし、学生の希望に合わせて選べるようにした。学生コアメンバーミーティングは1回/週、学生会員ミーティングは1回/月開催した。

③-2 大人からシニア世代の社会参加支援事業

シニア向けセミナー

- ・前年度シニア向けセミナー用に、コミュニティービジネスプログラムを開発したが、市役所からの追加セミナー要請を受け、2回のセミナーを通じて一連の流れとなるよう変更した。
- ・10月16日に第一回を、「シニアには第三の居場所が必要であり、様々な居場所がある中で、コミュニティービジネスを目指すのも価値ある選択」と位置づけ、ビジネスプランをサンプル課題でグループ討議する所まで実施。参加11名、アンケート結果では参加者評価はいま一つであった。
- ・1月18日に第二回を、「個々人の目指すコミュニティービジネス(セミナー前に聞き取り済)のプランを検討する」所まで実施。参加11名(第一回からの継続5名、新規6名)、適切な事例発表が盛り込めた事もあり、アンケート結果は高評価であった。
- ・2回のセミナーでは、事業の具体化までにあと一歩であったため、希望者にはアフターフォローを個別に実施、参加4名：うち2名程は具体化が期待できる。
- ・セミナーで変わらず好評なのは、澤岡ダイヤ高齢社会研究財団主任研究員の基調講演と、学生チームの参加。
- ・団体自立支援を1団体(地下水クリニック)に行い、順調に推移中。

- ③-3 「キーパーソン21の日！」を毎月21日(3月のみ20日)に12回開催し、延べ280名の会員及び一般が参加。学生による活動報告と会員に「おもしろい仕事人」としてお話をいただいた。